

# 保育おおさか

# No. 439

平成 24 年 3 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54  
TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426  
http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

## より実践ができる

## 人材の養成を

地域貢献支援員  
(スマイルサポーター)  
養成研修

育児相談員養成研修と地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修のカリキュラムが平成24年度から改訂されます。事業計画の「両研修の一本化」に基づくもので、関川芳孝氏(大阪府立大学教授)監修のもと、地域貢献事業推進委員会が検討が行われました。改訂のねらいは次の4点です。

### ①スマイルサポーター認定者と研修定員の増

「参加型研修」から「講義型研修」

従来の育児相談員養成研修で丁寧に取り組んでいた「ロールプレイ」や「グループワーク」などは残しつつ、地域の中で実践していただくための事例検討などの内容を盛り込んでいます。

本研修を修了したスマイルサポーターが保育園の役割や公益法人の存在意義を考え、地域貢献事業の必要性を認識しつつ、事業推進の中核を担う人材となることを期待しています。



監修者  
関川芳孝先生の  
コメント

に改変し、受講定員を約400人に増やします。育児相談員養成研修の定員は毎年約100人でしたが、希望者が多いため受講できない方が多くなりました。「スマイルサポーター全園3名配置」の課題をクリアするには早急な人材養成が必要となります。

### ②保育士が参加しやすい研修

受講者には主任クラス以上の職員が多く、受講者や園の負担軽減を考慮し、半日研修を検討しています。

### ③単位制の導入

有効期限のある単位制を導入。従来、カリキュラム途中で受講ができなくなった方は再受講が必要でしたが、一定の有効期間を定め、次年度以降への受講歴の持越しを認めます。

### ④カリキュラム内容の整理、求められる知識・スキルの修得

重複する研修内容を整理。アクションを起こせる人材を養成するために、「実践報告」「事例検討」などスマイルサポーターとして地域での実践がより可能となる内容を追加しました。

受講資格は、従来どおり経験年数5年以上。育児相談員の認定について

### 新研修改訂イメージ

従来研修	新研修 (平成24年度以降)
【第四期】 地域貢献支援員(スマイルサポーター) 養成研修 研修日数: 1日	地域貢献支援員(スマイルサポーター) 養成研修 第二期研修 研修日数: 5日 (従来の第四期に相当)
【第三期】 子育て支援担当者研修 研修日数: 2日	
【第二期】 育児相談員養成研修 第二期研修 研修日数: 5日	地域貢献支援員(スマイルサポーター) 養成研修 第一期研修 研修日数: 10日 (従来の第一期~第三期に相当)
【第一期】 育児相談員養成研修 第一期研修 研修日数: 5日	

研修名称も「地域貢献支援員(スマイルサポーター)養成研修」に統一する予定です。新研修では「第一期」修了で育児相談員認定(大阪府社協会長)、「第二期」修了で地域貢献支援員認定(大阪府知事)

でも引き続き実施。スマイルサポーターの認定には半日研修を15日間受講することが必要となります。23年度までに各研修を修了し、次の段階に移行する方は、一定のカリキュラムを受講することで、認定などが受けられるよう対応します。来年度の研修案内は、研修の詳細内容とともに4月~5月頃の通知予定です。

私の周りの肉食系女子は、バレンタインデーは「みんなでチョコレートを食べる日」だと思っています。女性に男性に愛情の告白として、チョコレートを贈る日本式バレンタインデーの習慣が定着したのは、昭和50年代前半。恋人ではないが、お世話になった人に義理で贈る、いわゆる「義理チョコ」、男性が女性に贈る「逆チョコ」、中高生を中心に最近広まっている女性から女性に贈る「友チョコ」なども。本命には、チョコレートではなく、マフラーやネクタイなど結構高価なものも贈られているようです。



保育園でも、年中くらいになると、「○○ちゃんと結婚したい!」「あかんで!○○くんは、私と結婚するねん!」と女の子は本命の男の子の隣に座ろうと一生懸命です。きっと今年もまた、モテ期真っ只中の年長男児のお母さんは、3月14日、サンタクロースのようにお返しの入った大きなカバンを提げてお迎えにくることでしょう。(編集委員M・S)

# さらに見やすく・使いやすく 機能がバージョンアップ

## よい子ネットパソコン操作説明会

平成23年度「よい子ネットパソコン操作説明会」を2月13日と17日、株式会社00Hで開催。69人の参加がありました。

トピックス、アンケート、メールアドレスの管理を中心に、実際にパソコンを使って説明。現在活用されている保育園も、これから活用する保育園にとっても、参考になる内容でした。

スマートフォン、タブレットの普及に伴い、操作機能がバージョンアップ。従来、画面表示が携帯電話のサイズとなっていました。スマートフォン

のサイズに合わせて表示されるようになり、見やすくなりました。

管理画面では、簡単ログイン機能が追加され、毎回IDとパスワードを入力しなくても操作できるようになりました。

iPhoneではできなかった写真付きトピックスの投稿も可能です。詳細は同封の冊子を「ご覧ください。

今後も、多く



真剣な眼差しの参加者

ご不明な点がございましたら、ラジオ関西よい子ネットサポートセンター  
電話：078-362-7371  
メール：yoiko@osaka.yoiko-net.jp  
までお問い合わせください。

の保育園で周知、活用してもらえらる充実した研修会にしていきたく思います。

よい子ネットをよろしく  
お願いいたします。  
(調査研究委員Y・I)

「介取り講習会」が2月18日、榎塚台保育園にて開催されました。講師は保育部会・永野治男部長をはじめ、昭和50年代に保育部会調査研究委員会で活躍された方々。参加者には比較的若い保育士の姿が目立ちました。

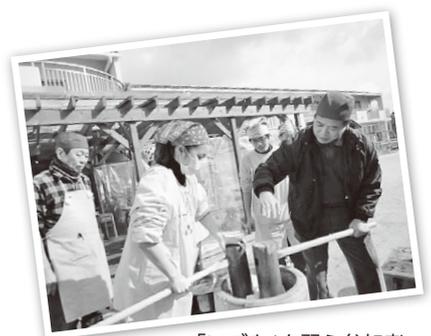
最初に餅米の蒸らし方のコツなど、準備段階での注意点を学んだ後、蒸された餅米を臼に移し入れ、「いづき」という作業に入ります。「いづき」とは別名「つぶし」とも言い、杵で餅米をすり潰し、あらかじめ餅米を餅に近い状態にするこ

## 食物作る楽しさ、 伝統を継承する大切さ学ぶ

初めて経験したという参加者が多く、「餅は店で買うもの」という認識の人が、若い世代では多くなってきたようです。一つ一つ手間をかけ汗を流しながら、自分たちの手で食物を作っていくことの「楽しさ」、諸先輩から日本の伝統を学び、継承していくことの「大切さ」を体験できました。

餅つきを通じて地域との交流（貢献）のきっかけにしていく大事な人材養成の取り組みでした。

初めて経験したという参加者が多く、「餅は店で買うもの」という認識の人が、若い世代では多くなってきたようです。一つ一つ手間をかけ汗を流しながら、自分たちの手で食物を作っていくことの「楽しさ」、諸先輩から日本の伝統を学び、継承していくことの「大切さ」を体験できました。



「いづき」を習う参加者

# 首長や制度が変わっても 保育への姿勢・思いは不変

保育部会  
新年互礼会

1月24日、ホテルモントレグラスミアにて開催された新年互礼会に135人が参加。大阪府議会の横倉廉幸副議長、永野孝男議員、浦野靖人議員をはじめ大阪府、堺市、高槻市、東大阪市からも来賓としてご臨席いただきました。

永野治男保育部会長は開



代表受領者  
小林久美子さん

会挨拶で、昨年の大阪府知事・大阪市長選挙の結果や国会審議中の「税と社会保障の一体改革」にふれ、「た

とえ大阪のトップや制度が変わったとしても、保育に対する我々の姿勢や思いは変わらない。行政関係者は一市民としての感覚を忘れないでほしい。今後の動向に注視し、期待もしている」と述べられました。

地域貢献支援員（スマイルサポーター）の認定証交付式が行われ、今年140人が認定を受けました。

小林久美子さんが代表して認定証を受領されました。



今年、140人が認定を受ける

今後のご活躍を期待しています。  
(事務局)

# 摂

津市の鳥飼東地域にある第二とりかい保育園は、「あそび」と「まなび」を深めることを保育目標にしています。現在、8月完成予定で園舎を建て替え中のため、仮園舎を訪問しました。

仮園舎は平屋造りで、園庭がほとんどないため、毎日公園へ出かけます。仮園舎という環境の変化は、普段の保育を考え直すきっかけになりました。舞台スペースが小さくなったため、保護者がより見やすくなるように、発表会を二部制にしたのもその一例。本当に必要なものは何か？を

常に考え、保育の質を維持するために、さまざまな工夫をしてきました。公園遊びなど、仮園舎での保育から生まれたアイデアは、新園舎になっても積極的に取り入れようと考えておられます。新園舎の建設工事に伴う騒音や工事車両の出入りなどで、地域への影響は少なからずありますが、近隣の方々は「地域の保育園のため」と快く支えてくださっています。地域の方々の協力や支援の大きさを改めて知ったとのことでした。

「環境が変化する中で組織が強くなること、変化の中で、保育の意義を感じ、新たな工夫を考

## 新園舎への期待と夢ふくらませ「あそび」と「まなび」深める

### 地域に支えられ地域にねがす 変化おそれず常に新たな工夫

#### 摂津市 第二とりかい保育園

たな工夫を考える意識が職員間に培われるということを感じました。現状の保育に本質的な問いかけをしながら、変化を恐れない保育園として、地域に根ざしていききたいと思えます」と



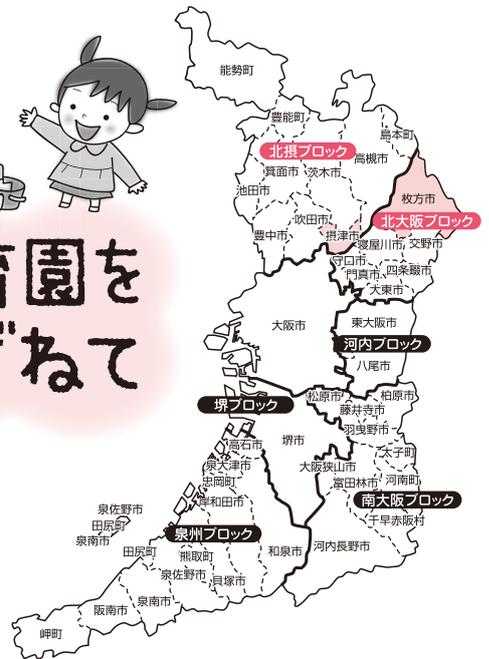
仮園舎でもみんな楽しい♪

園長の園田裕紹先生がいきいきと語っておられました。(編集委員M・H)



## 保育園をたずねて

444



**も** ともと農繁期の託児所としてつくられた茄子作保育所は、昭和28年に現在の名称で開設。財団法人を経て社会福祉法人となり、今年創立59年。市の南部、成田山不動尊の東約3kmのところにあり、神社や公園、古からの民家に囲まれ、とても静かな環境です。5代目でいらっしやる現在の園長先生は、なんと同園の卒園児。故郷に帰ってこられた訳です。保育目標の中に3つの「ユウ」があります。遊：いろいろな遊びを工夫



みんなであそぼ♪



お山の大将だ〜れだ！

し、体力作りをして元気で健やかな子に育てます。勇：くじけず、立ち向かおうとする子に育てます。優：思いやる心を持つ、優しい子に育てます。写真は、「みんなであそぼ」というイベント。段ボールで作った家などで、絵を描いて実際に体験できる行事の「コマと、お山のある園庭からの一枚です。より良い保育を目指し、新たな歴史を刻み始めました。(編集委員J・H)

## 保育目標に「遊」「勇」「優」 元気に、くじけず、思いやる

### ストレスのない広々保育室 新しい環境でのびのび育つ

#### 枚方市

#### なすつくり 茄子作保育所

昨年4月には、園舎の建て替え工事が完了。定員は30人増え150人に。平屋から2階建てにするなど、緑多い周辺環境の中で、安心して遊べる新しい保育室と園庭になりました。フリースペースを作るか？保育室を広くするか？ ずいぶん悩まれた末に、保育室を拡張し、ゆったり広々とした部屋にし、雨の日でも園児が運動できる構造にしました。1歳児の部屋は道具入れによって間仕切られています。

# 毎日のびのびリラックス 四季の風を力にかけて成長 園舎は真新しい「第二の家」 形や物でない大切なことを援助

東大阪市

四季の風保育園



真新しい園舎



レンガ造りのかわいい園舎

「保育園としては新人の一年生。子ども、保護者、地域の人たちとの絆を大切に、皆さんに認めていただきたい」と、山本理事長は話しておられました。

環境に恵まれた広々とした園庭では、四季折々の花や実のなる木が30本。子どもたちは、自然を感じながら元気に走り回り、毎日楽しく過ごしています。

園舎は平屋建て。各クラスで何をしているかがわかり、自然と子どもたちの縦のつながりが深まっています。

とても広いホールでのリトミックや体育遊びでは、全身を思いっきり動かし、子どもたちが「疲れた」というほど楽しめます。また、毎月の誕生会や行事でも、みんなと一緒に給食を食べます。ホールは、縦のつながりが深まる場所です。近隣には、りんくうプレイスがあります。

③友達と協力して活動する「共に育つ力」

「さまざまなき意味での『自然』を大切に、保護者や地域の方々と共に、これからも大切に育んでいきたい」と、奥野祥行園長は熱く語られました。

(編集委員 N・N)

**東** 大阪市の東部にある四季の風保育園は、平成23年4月に開園、新たに法人を開設されました。「第一の家」と位置づけられた園舎は、レンガで造られています。建物は鉄筋コンクリートですが、内装には木材を主に使用され、暖かい雰囲気の中で保育されています。

学生時代から児童福祉のボランティアなどに積極的に参加されていた山本行伸理事長は、お子様を保育所に預けられたご自身の経験から、保育所の必要性を痛感されたそうです。

中学校区に保育所が一つもなく、地域の人たちの強い要望もあり、保育所新設を決意されました。真に自立した人間に成長できるように、形や物ではない大切なことを、保育を通して援助していきたい。時に優しく、時に厳しく、四季の風にたとえ、子どもたちがその風をしつかりと受けとめ、力にかけて成長してほしいという願いが園名に込められています。

「二人ひとりの子どもを大切に、子どもが喜び、保護者から信頼され、地域から愛される保育所」を理念に掲げ、地域の人々にも参加できるような配慮がされています。新しい園舎で、のびのび育つ子どもたちの様子が伝わってきます。

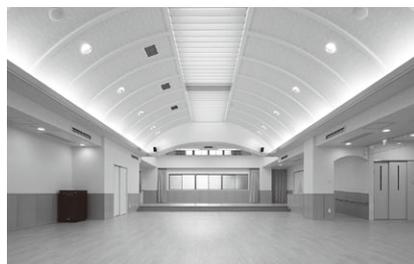
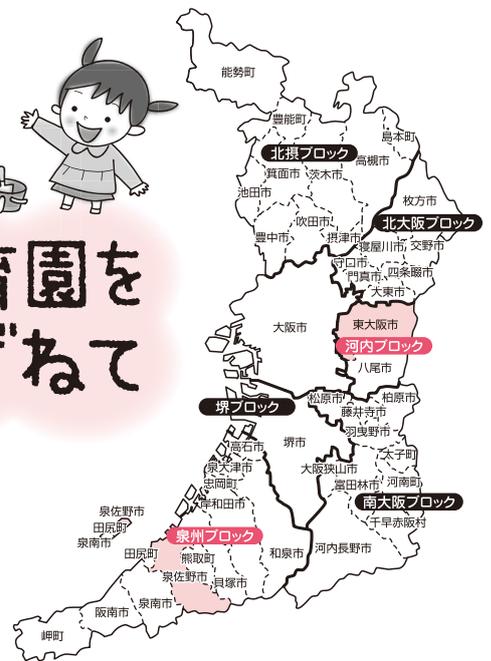
地域の人々との絆を大切に、皆さんに認めていただきたい」と、山本理事長は話しておられました。

(編集委員 K・M)



保育園を  
たずねて

445



広々としたホール



青い屋根がかわいい園舎

四季折々、花も実もある木々30本  
自然を感じながら元気に遊ぶ

縦のつながり深まる広々ホール  
保護者・地域の人たちと共に

泉佐野市

こだま保育園



公的機関が、地域のコミュニティづくりの一環として子育てサークルへの継続支援・設立支援に積極的に関わり、物的・人的支援を続けてきましたが、財政的な問題もあり、その関与は徐々に減ってきたようです。

### 子育てサークルの継続支援と設立支援



## ● 保育園がつくるコミュニティ ●

### 設立や継続に園が助力

自主・自立・自営を支援

#### 守口中央保育園の事例

9年前に公立民営化された守口中央保育園は、一時預かりを運営するなど、民営化直後から、園庭開放や親子教室など地域での子育て支援に積極的に取り組んできました。

#### 守口中央保育園にみる子育て支援事業

長い歴史を持つ地元密着の保育園は、地域に根ざした共同体の一部になっており、また「地域子育て支援センター」を併設し、子育てサークルの支援を業務として行い、人的な余裕もみられます。



毎週木曜日、公民館を利用して自主的に運営されています。リーダーが不在になることもなく、交代もスムーズに行われています。メンバー一人ひとりの意識も高く、継続性のあるサークルといえます。

月に1回、専任の保育士が訪問し、カレンダー作りのほか、親子ふれあい遊び(写真①)やリズム遊びなどの出前教室を行っています。「公民館祭り」や生涯学習センターの展示イベントで



「親子サークル・プチママ」は、自主・自立・自営で意識的に取り組まれています。

同園が支援する「親子サークル・プチママ」の現在のメンバーは25組ほど。

は、企画・製作についてアドバイスするなど、継続的なバックアップを行っています。公民館祭りでは、画用紙や廃材を利用して作った「お弁当」を出品しました(写真②)。夏にはサークルのために園庭を開放しています。毎年何人かの子どもが幼稚園や保育園に入園する3月には、お別れ会を兼ねて親子でクッキング(写真③)。

みんなで食事を楽しみます。保育士のほかに栄養士も同行し、レシピの紹介や作り方のコツを指導。例えば、乳製品アレルギーの子どものために、豆乳を使った対応食についてアドバイスをしました。

年度により会員数の減少があります。会員募集の相談があれば、園庭開放(写真④)や親子教室で案内したり、利用者への声掛けも行っています。

「親子サークル・プチママ」は、自主・自立・自営で意識的に取り組まれています。

子育てサークル支援		
例	経緯	結果
1	衰退のサークルへの支援 月一回の定期集会で読み聞かせや音遊びをする。参加者の募集を行う。出張した時は十数組の参加あり。	衰退は止められず、消滅。リーダーの不在。近くに支援センターと子育てサロンがある。
2	新規子育てサークルの自然発生 保育園で、同じ親子で数回の親子教室を行う。教室終了後、仲良しの参加者よりお別れ会開催の依頼があり、保育室の提供を行う。	その後、サークルとなり、企画等の相談あり。教室参加者のほとんどがグループ化。
3	既存のサークルや仲良しクラブを多数支援 支援センターを併設している園である。各サークルの情報中継地点(窓口)となる。出張はしない。センターを中心に相談やアドバイスを行う。	偏らない支援継続。支援側の負担減。サークルにより盛衰はあるが、継続。
4	新規子育てサークルの発生 仲良しが集まって先生を探しリトミック教室を始める。募集の協力が積極的により継続している。幼稚園入園後メンバーの入れ替わりがあるが順調に継続している。年に2~3回のイベントで、出張や遊具、絵本、楽器を貸し出し。	リトミックの先生が、リーダーの存在。継続中。
5	新規サークル設立に失敗した例 サークルによってリーダー会や研修、後継育成等がある。幼稚園入園後も関係が続き、大変なので、別の会を作りたいと相談あり。保育室の提供はできないので、公民館を予約。年に2回の出張と、遊具の貸し出しを行う。	1年半で消滅。リーダー不在で、継続できず。

#### まとめ

- ・リーダーの負担軽減の為に、事務局的なものが必要。
- ・過度な支援は、サークルの自主性を損なう。
- ・保育園は、適度な支援継続が可能。
- ・「子育てサークルの継続支援や新規設立支援のサポートが出来ること」を周知する必要がある。
- ・保育園の規模によって、支援の内容には限界がある。
- ・サークルの拠点近くに、活発な子育てサロン、支援センター、集いの広場があると、サークル運営は困難な場合がある。



北摂

赤ちゃんポスト

「こののりのり」

ゆりかご「見学

— 府外園長研修会

平成24年1月26・27日に開催され、熊本県の医療法人聖粒会慈恵病院を訪問しました。

45年間産婦人科に携わる慈恵病院は、医療法に基づ



看護師長の田尻由美子氏

き県の認可を受け、赤ちゃんポスト「こののりのりかご」を社会貢献事業として開設されました。新生児の置き去りや殺害など、命を与えられながら生命の保障を受けることができな

い多くの新生児を何とか救いたいとの思いから平成19年4月に設置されました。設置5年間で救われた赤ちゃんは277人。赤ちゃんポストに預けられた後、親が育てられるようになったケースや乳児院で一時的に保護され里親が育てるケースなど、警察・児童相談所との連携で子どもの居場所を確保しています。



熱心に受講する参加者

な相談を24時間体制で受け、深夜の電話相談にもしっかりと対応されています。平成22年度の相談は591件。母親の不安に深夜まで快く対応されている病院関係者の姿に畏敬の念が

わきました。赤ちゃんポスト「こののりのりかご」の設置当初は、賛否両論さまざまな意見があったようですが、看護師長の田尻由美子さんは、「世の中が変わらなければ、ゆりかご（赤ちゃんポスト）はなくならない。児童福祉がもっと進まないといけない。家庭で育てられる環境が必要」と強調。子どもの命を守りたいという信念を感じました。



講演する関川氏

南大阪

健全な子どもの育ちと

施設の安定経営が

— 園長研修会

平成24年1月16日、スイスホテル南海大阪を会場に、講師の関川芳孝氏（大阪府立大学人間社会学部教授）が「子ども・子育て新システムに関する中間とりまとめの概要」について講演。

関川氏は、私たちが一番大切にすべきは何よりも「健全な子どもの育ち」であり、安定した施設の経営が必要不可欠であることを強調されました。子どもが著

旬

3月は菜の花、あさり、春キャベツ

ぼやきたい昔も今も行政の遅さ・非効率

震災後10カ月。国民は辟易している。私が常々思うてることは、行政の対応の遅さ、それに加えて非効率な動き。

昔、校区の連長をしていた時、地域の道路工事の説明に、課

どだい新鮮に聞こえる。大阪市の役所の風通しが良くなったら、全国右へ習え！さすれば国も変わらざるを得まい。それには期待大！

教育改革も大いに関心がある。何故私学に人気が集まる？日教組も自分の足を良く見ないと。

子ども子育て新システム導入による「幼保一体化」や株式会社など「多様な事業主体の参入」や将来の急速な少子化など、保育業界を取り巻く環境が不透明です。我々社会福祉に携わる者は、「何を大切にして日々の保育に臨むべきか」地域社会での子育てを支援する保育所の役割は何か」について改めて学ぶことができ

国会での攻防が本格化？「税と社会保障の一体改革」で消費税10%、「こども・子育て新システム」が動き出す（予定）。予算関連法案に衆議院の優越規定なく、衆参逆転の現状、どこで手を打つ？野田政権で消費税を上げさせ、解散総選挙となるか。

ならば、大阪維新の会が国政に名乗り。何処までするよる既成政党。賛意示さぬ政党候補者に対抗馬擁立。今の大阪は維新の独壇場。石原さんも新党旗揚げ。いま40%超

長・係長・担当者・さらに業者の4〜5人がやって来て、課長と係長が挨拶、担当者を紹介：肝心の工事の説明は業者が。あんなら、こんな話に何人来るねん！民間やつたら1人、それ

条令。民にできることは民に！こんなことを書くと、行政の皆さんから益々嫌われるが、誰かが言わないかんと思う。橋下はんの発言は、誰もよう言われんかった範疇に及ぶから、

煮干、濃口醤油を少々、千切ったキャベツを鍋一杯入れ着火あつという間に柔らかいキャベツ鍋。安い、美味しい、身体にいい。さあ3月。あく忙し忙し!!

（H・N）

（編集委員R・Y）